

株式会社アバールデータ

2012年3月期 第2四半期決算説明会

(2011年11月17日 サンケイプラザ310号室)



会社概要と業績報告

中期経営計画概要

ご報告内容

1. 会社概要
2. 第53期 第2四半期 業績報告
3. 第53期-第55期 中期経営計画概要
4. 参考資料

2011年11月17日

(CPP-1111-A)

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信等は、本資料発表日現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があるため、本資料のみに全面的に依拠することは控えていただきますようお願い申し上げます。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。



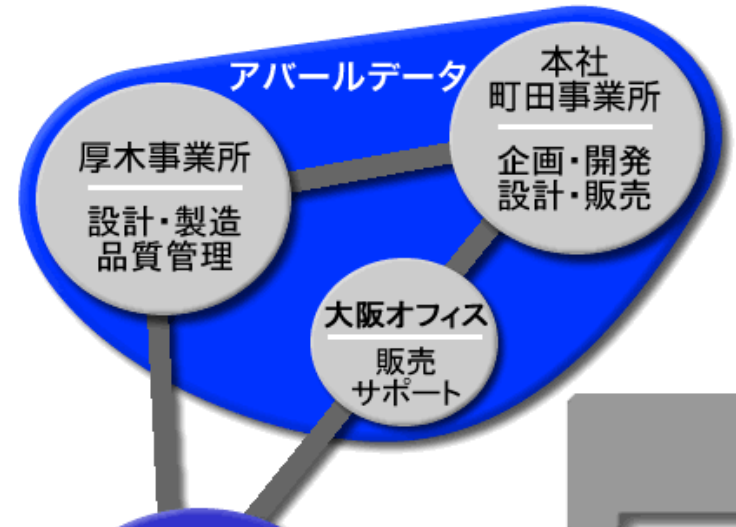
株式会社アバールデータ 会社概要 2012年3月期



私たちは、お客様に「価値(value)」を提供し「信頼」を獲得します。

株式会社アバールデータ

本社・町田事業所 東京都町田市旭町 1-25-10
 厚木事業所 神奈川県厚木市金田 1041
 代表取締役 嶋村 清
 会社設立 1959年8月
 資本金 23億5,409万円
 従業員 175名
 JASDAQ店頭公開 1991年
 ISO9001認証取得 1995年
 ISO14001認証取得 2001年



株式会社アバール長崎

本社 長崎県諫早市津久葉町6-42
 情報機器営業部 神奈川県厚木市中町4-10-2
 代表取締役 川浪 義光
 会社設立 1987年11月
 資本金 1億3,400万円
 従業員 125名
 ISO9001認証取得 1996年
 ISO14001認証取得 2006年



- 1959 ● 応用電子研究所を母体に東洋通信工業株式会社(東京・渋谷区)を設立
- 1979 ○ 初の自社製品ポータブルタイプのPROMプログラマ「Pecker」を開発・発表
- 1985 ○ 68000プロセッサを搭載したVME busボードコンピュータを開発
- 1987 ● 自社製品の開発・製造拠点として「株式会社アバール長崎」を設立
- 1988 ○ 画像処理製品の開発プロジェクトを発足
- 1989 ● 社名を「株式会社アバールデータ」に変更
- 1991 ● 店頭銘柄として新規登録(現JASDAQ)
- 1996 ○ (株)アバール長崎:CTI製品を初めて国産化
- 2003 ● (株)アクセルと画像描画・伸張LSI応用システム製品事業の協業で合意
- 2007 ○ PCI ExpressブリッジLSIを開発、自社製品への組込みと単体のサンプル出荷開始
- 2007 ● 東京エレクトロデバイス(株)とLSI・ボード販売等に関して業務提携
- 2010 ○ PCI Expressブリッジ用高性能FPGA IPを開発 次世代自社及び受託製品への組込み開始
- 2011 ○ 日本インダストリアルイメージング協会CoaXPress国際基準画像処理モジュール、販売開始

関連事業分野と利用製品

世の中の商品とつながっているアバールデータの製品

アバールグループ



アバールグループの製品

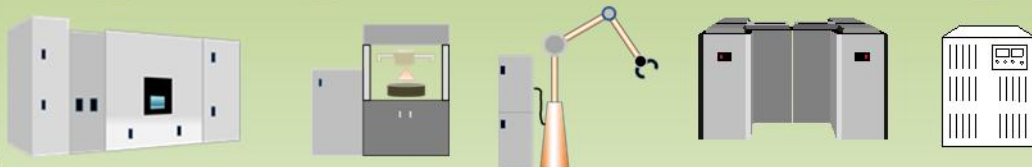
半導体/液晶
製造装置

検査装置
計測機器

F A 用
制御機器

通信機器
関連機器

電力
省エネ機器



アバールグループの製品が組み込まれた機器(製造装置)

半導体
LSI(BGA)

携帯電話

PC

TV

車



アバールグループの製品が組み込まれた機器で製造された製品(最終製品)

産業用装置

高信頼性(止まらない)

高速性(大容量のデータ)

長期供給(製品寿命)



さまざまな使用環境

24時間フル稼働

長期間運用(15年~30年)

工場・公共施設等

「組み込み製品」とは？

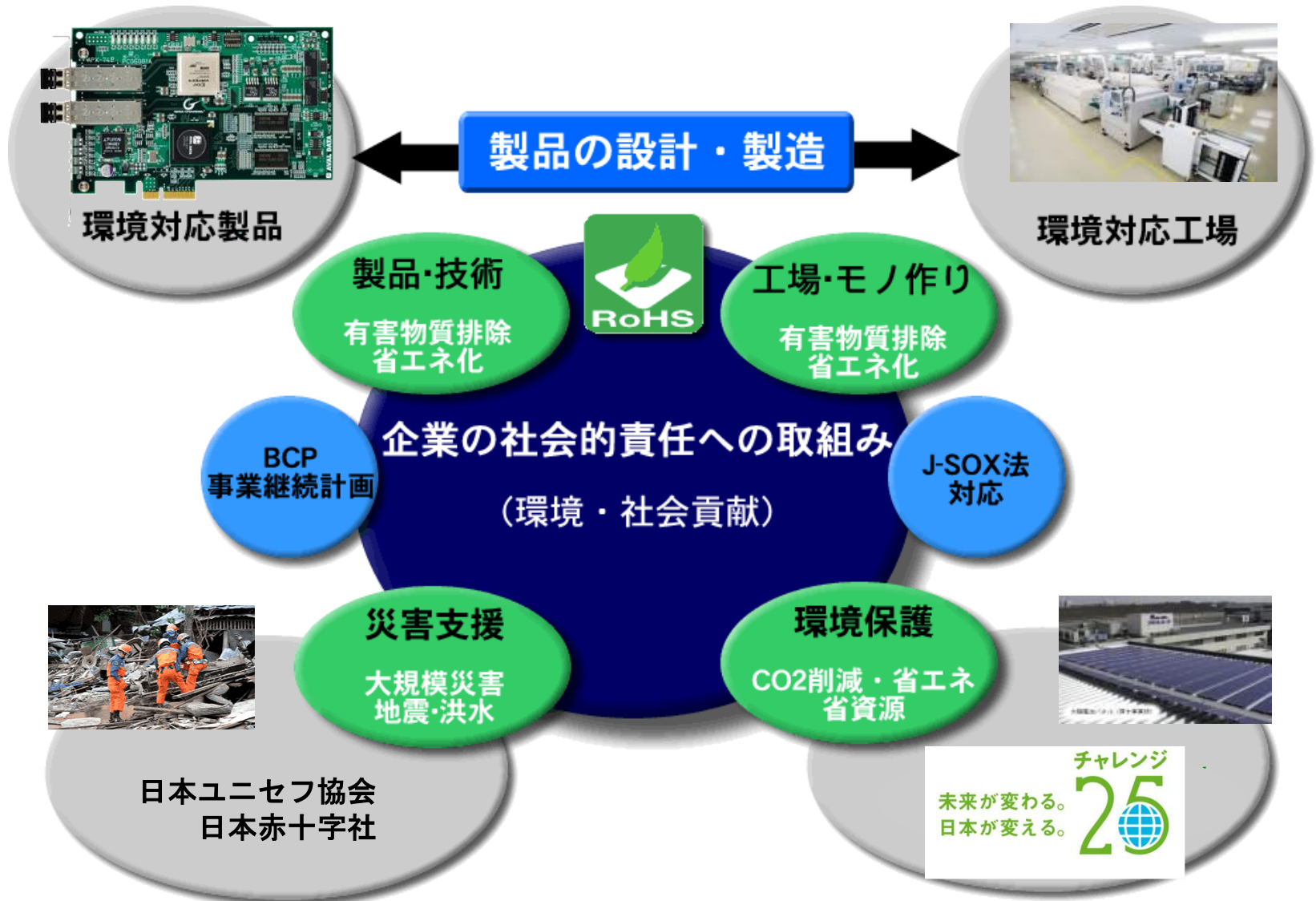
アバールデータの主要なビジネスである組み込み製品の「組み込み」とは何でしょうか？

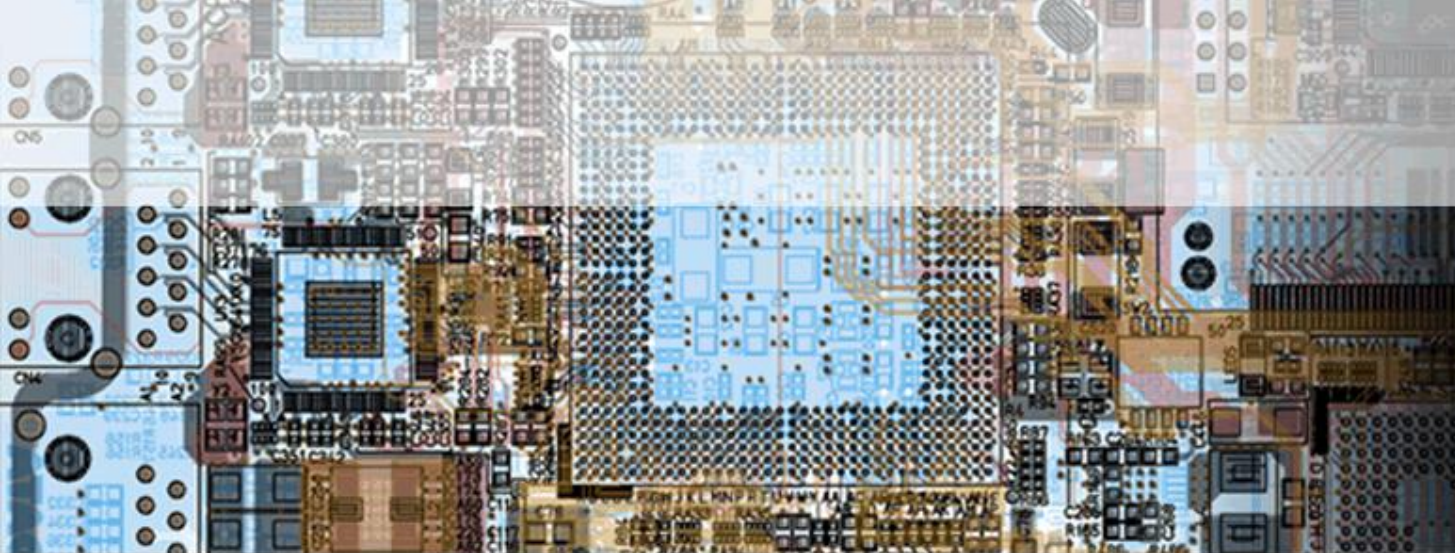


産業用機器には、コンピュータやカメラ、モーターなど様々な「組み込み製品」が使われています。



CSR経営（企業の社会的責任への対応）





2012年3月期(第53期) 第2四半期業績

[期間:2011年4月1日-2011年9月30日]

2012年3月期(第53期) 業績予想

[期間:2011年4月1日-2012年3月31日]

2012年3月期 第2四半期・業績(連結)

単位:百万円(百万円未満四捨五入)

| 品目 | | 2011年4-9月期(第53期) (半期)実績 | | 2012年3月期(第53期) (通期)予想 | |
|-------|-----------|----------------------------|-------------|--------------------------|-------------|
| セグメント | 品目 | 売上 | 前年同期 増減率 | 売上 | 前年同期 増減率 |
| 自社製品 | 組込みモジュール | 347 | -6.4% | 690 | -2.6% |
| | 画像処理モジュール | 331 | 15.1% | 700 | 9.8% |
| | 計測通信機器 | 358 | 36.7% | 800 | 20.2% |
| | 自社製品関連商品 | 78 | 10.5% | 195 | 9.5% |
| | 小計 | 1,113 | 12.4% | 2,385 | 8.9% |
| | セグメント利益 | 204 | 31.0% | — | — |
| 受託製品 | 半導体製造装置関連 | 1,527 | -11.3% | 2,865 | -14.6% |
| | 産業用制御機器 | 369 | -17.5% | 810 | -6.2% |
| | 計測機器 | 343 | 12.3% | 740 | 15.3% |
| | 小計 | 2,238 | -9.5% | 4,415 | -9.1% |
| | セグメント利益 | 328 | -4.8% | — | — |
| 売上合計 | | 3,352 | -3.2% | 6,800 | -3.5% |
| 営業利益 | | 272 | 0.8% | 550 | -11.9% |
| 経常利益 | | 307 | -0.1% | 600 | -13.9% |
| 当期純利益 | | 233 | 7.5% | 430 | -13.3% |

(注) セグメント利益は実績のみ記載。連結各セグメント利益合計532百万円と営業利益272百万円との差額260百万円はセグメントに属さない全社費用等。また、計画数値は9月13日現在の数値です。

2012年3月期第2四半期・品目別売上高の状況(自社製品)

◆ 組み込みモジュール分野(自社製品)

- FA全般及び半導体製造装置関連の受注が減少し、売上高も減少。

→ 売上高347百万円(前年同四半期比6.4%減)



◆ 画像処理モジュール分野(自社製品)

- 新製品の立ち上がりに加え、新分野での営業開拓が進み、売上高は増加。

→ 売上高331百万円(前年同四半期比15.1%増)

◆ 計測通信機器分野(自社製品)

- 超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」は、FA全般の受注が堅調に推移し、新規顧客の受注も大幅に増大。
- CTI(Computer Telephony Integration)の大口受注は減少。

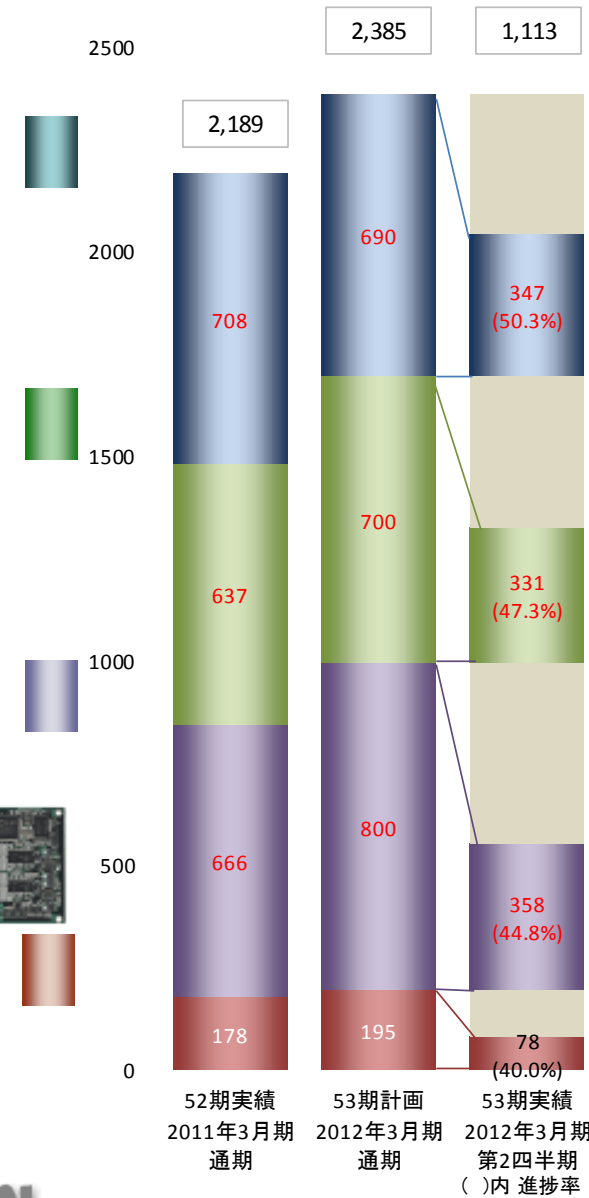
→ 売上高358百万円(前年同四半期比36.7%増)



◆ 商品(自社製品関連)

- 自社製品全般が回復に転じたことにより、売上高は増加。

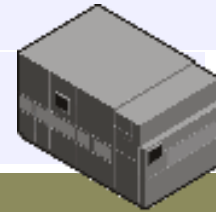
→ 売上高78百万円(前年同四半期比10.5%増)



◆ 半導体製造装置関連分野(受託製品)

- 大手半導体メーカーのLSI微細化が続く中、最先端の半導体製造装置への積極的な設備投資の一部が延期されたため、売上高は減少。

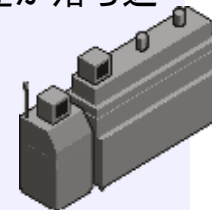
→売上高 1,527百万円(前年同四半期比11.3%減)



◆ 産業用制御機器分野(受託製品)

- 産業用装置の受注は堅調に推移したが、社会インフラ関連が落ち込み売上高は減少。

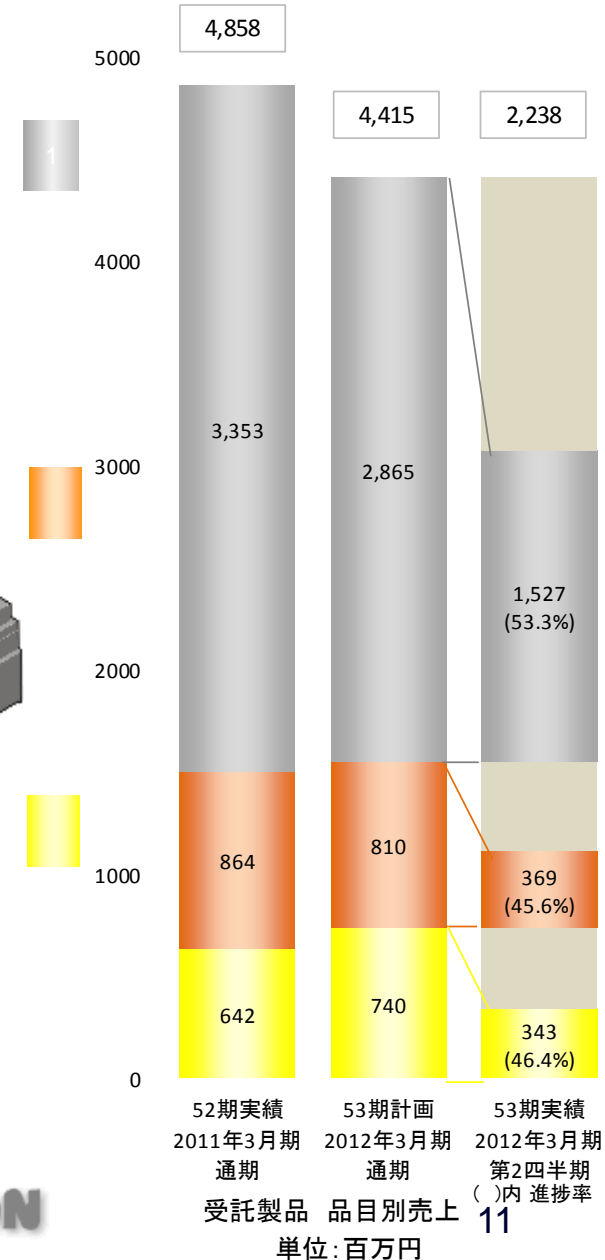
→売上高369百万円(前年同四半期比17.5%減)



◆ 計測機器分野(受託製品)

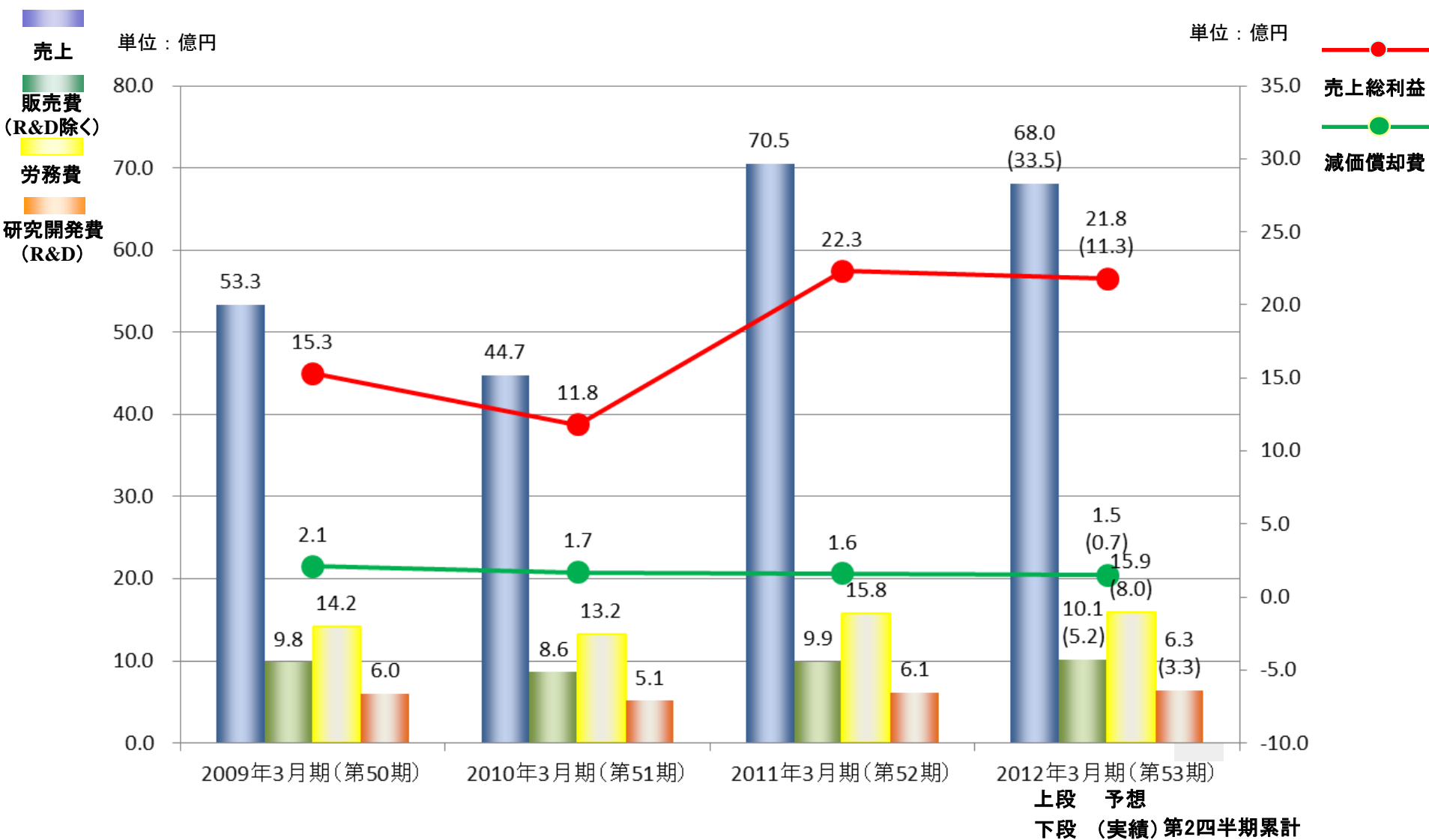
- 主力の電力関連機器全般の回復に加え、各種計測機器の受注が順調に推移し、売上高は増加。

→売上高 343百万円(前年同四半期比12.3%増)



2012年3月期第2四半期・業績（経営成績）

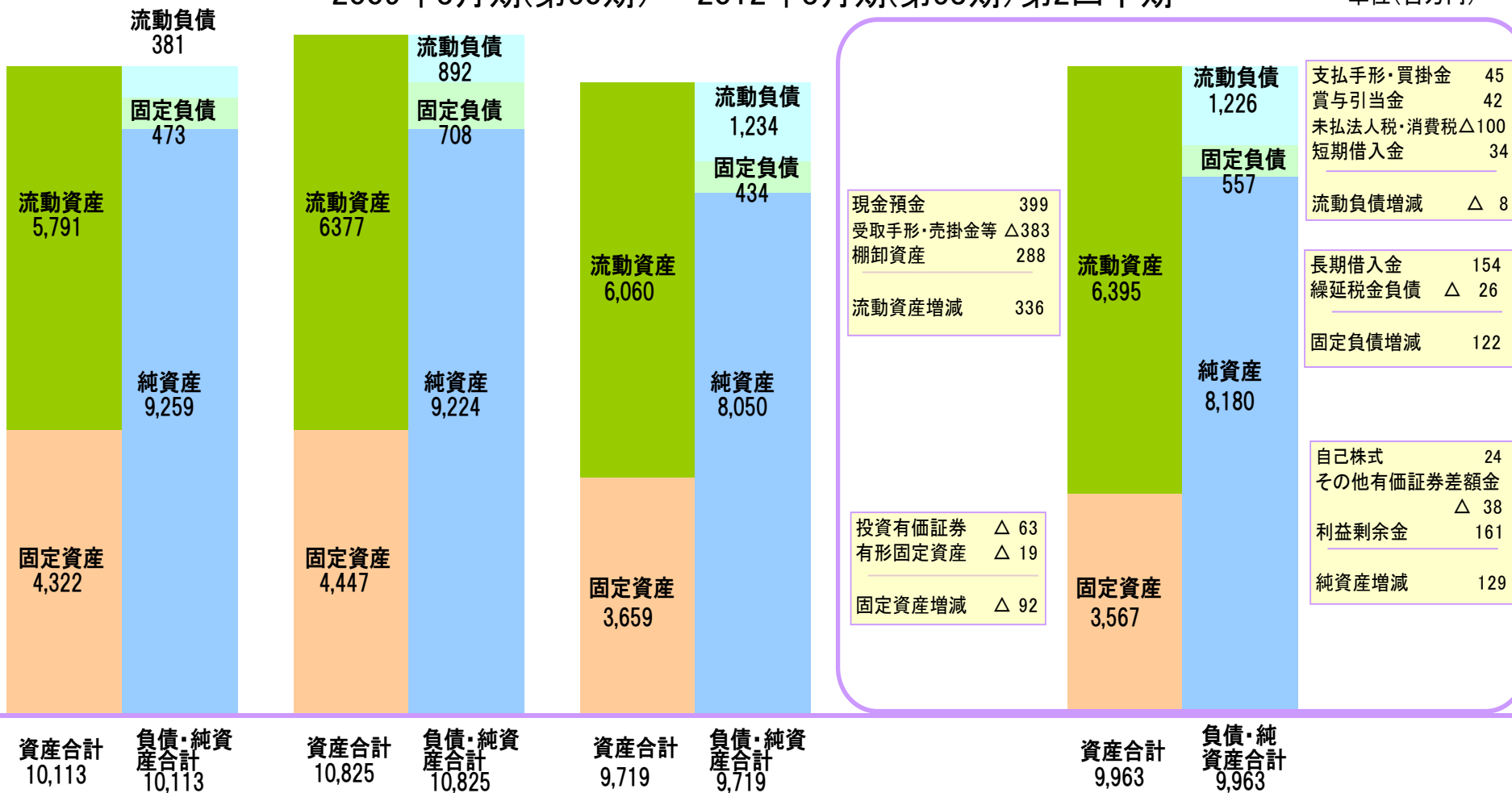
2009年3月期(第50期)－2012年3月期(第53期) 予想



2012年3月期 第2四半期・業績（財政状態）

2009年3月期(第50期) — 2012年3月期(第53期) 第2四半期

単位(百万円)



2009年3月期 (50期)

2010年3月期 (51期)

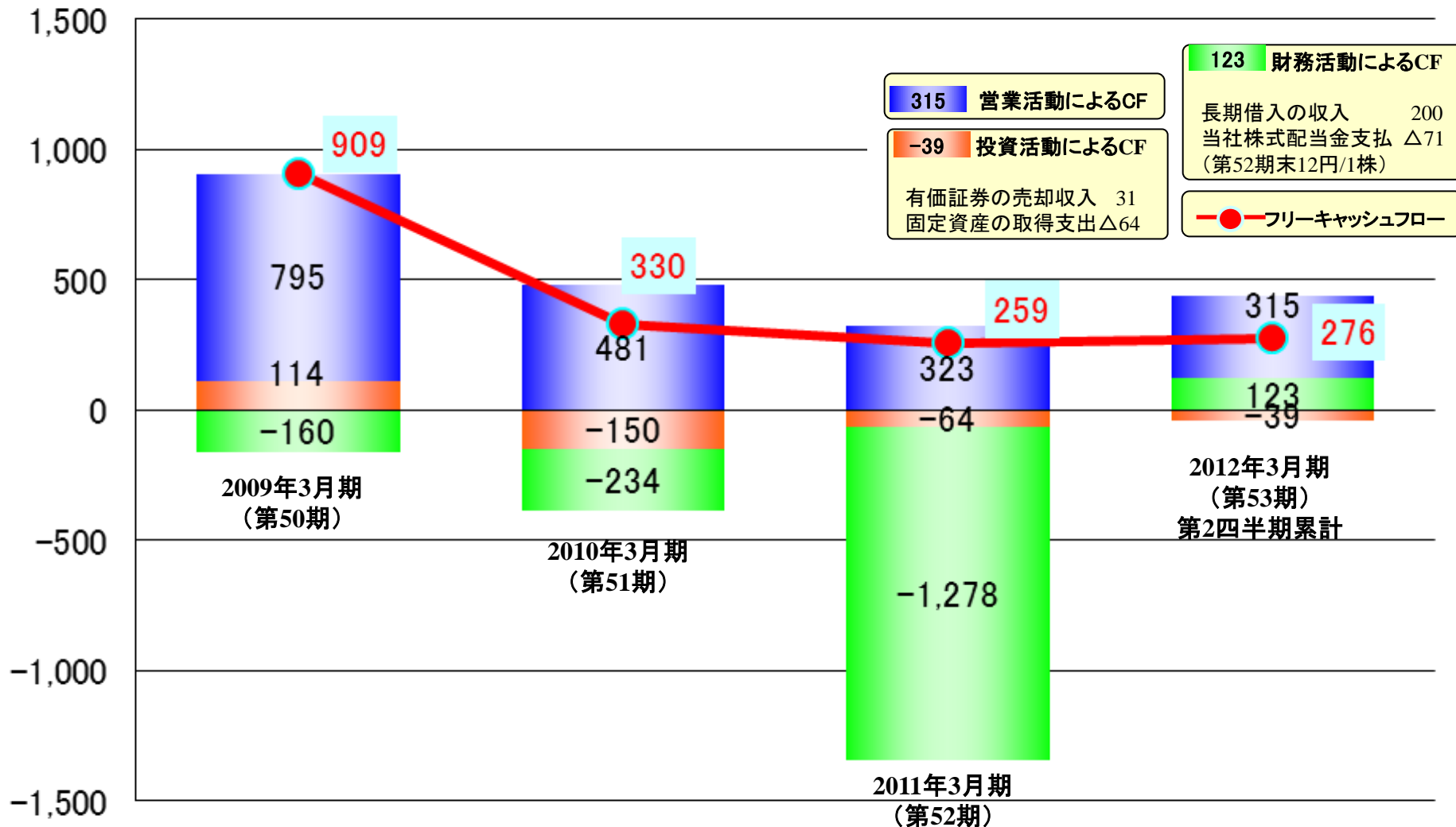
2011年3月期 (52期)

2012年3月期 (53期) 第2四半期

2012年3月期第2四半期・業績(キャッシュフロー)

2009年3月期(第50期)－2012年3月期(第53期) 第2四半期累計

単位:百万円



より高速に、より高精度に

既存製品のさらなる機能強化と拡張

組込

Intel ATOM採用省電力MPUボード
ACP-127 APC-134

画像

高速・低コスト版のキャプチャボード
APX-3318 APX-3302

次世代カメラインターフェース
CoaX対応 APX-3662

通信

更なる高速アップを実現
(8Gbit/秒 16Gbit/秒)
APX-781 APX-782



新規分野への挑戦

アナログ⇔デジタル変換

高速アナログ⇒デジタル変換ボード
ADM-414/512 シリーズ化

高速デジタル⇒アナログ変換ボード
DAM-516



スマート電源

エネルギー変換用双方向
コンバータ電源シリーズ化



その他

リモート監視
総合管理ソフトウェア

FPGA-IPライブラリ
(PCIe-Gen2、DMA、etc.)



高速データ保存ボード
APX-880



売上・利益・経営指標の推移—実績と予想

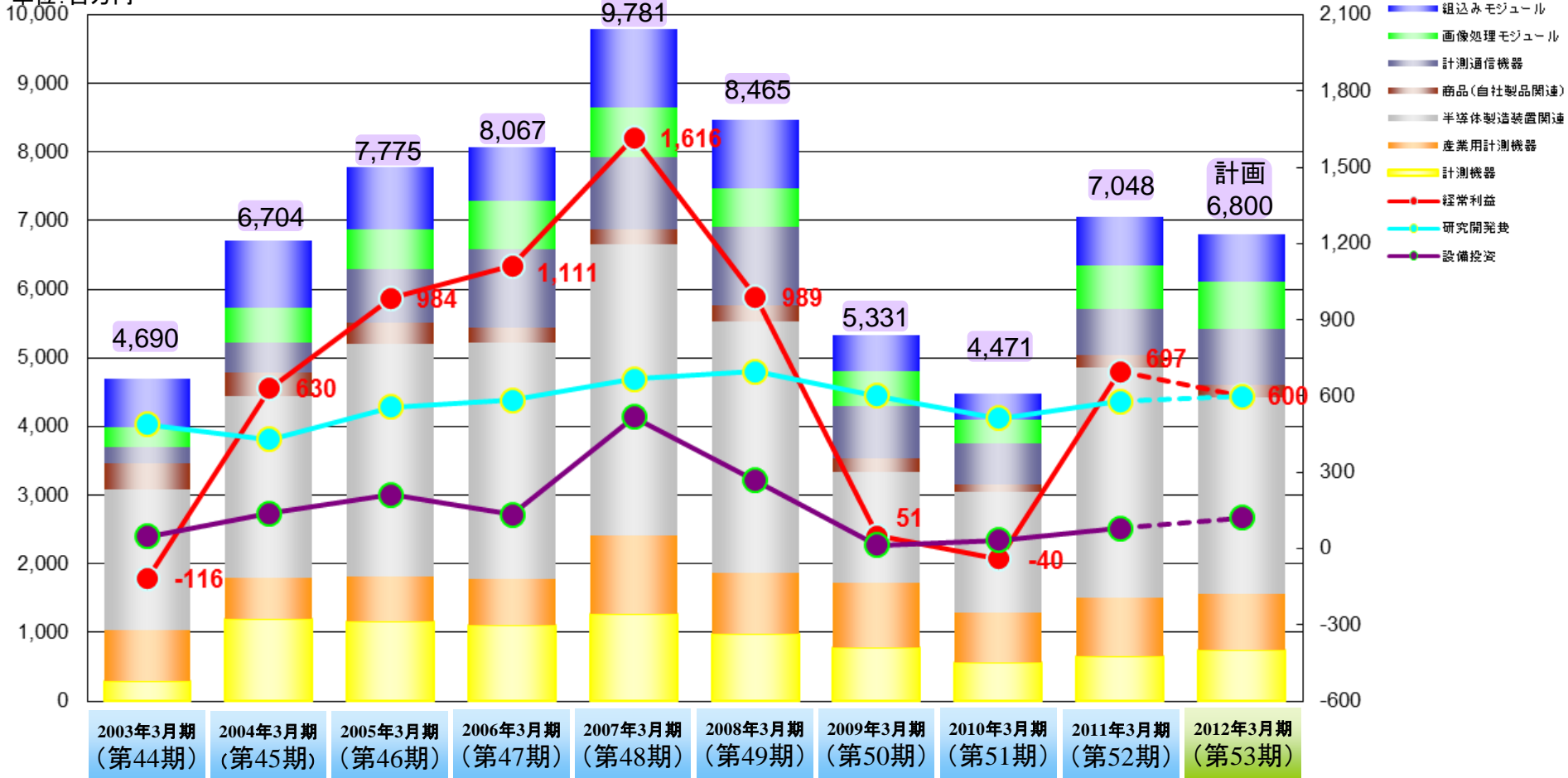
2003年3月期(第44期) - 2011年3月期(第52期)および 2012年3月期(第53期:予想)

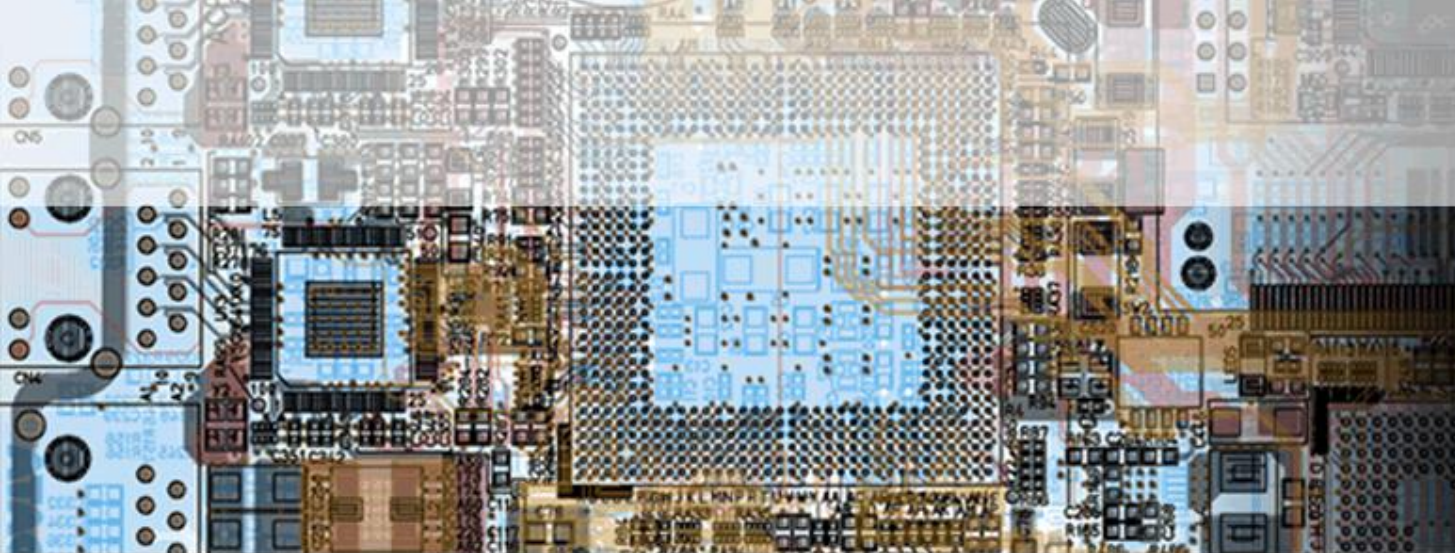
売上

経常利益

単位:百万円

単位:百万円





2011年中期経営計画概要

2012年3月期(第53期)－2014年3月期(第55期)

AaA

actionandachievement

実行と実現

中期経営計画 成長のシナリオ(強いアバールGへ)

市場回復と予想される組込市場の変化への対応(激変する市場環境への対応と飛躍)

差別化された
新製品



高速アナログ スマートカメラ

パートナーとの
協業

販売提携

海外戦略

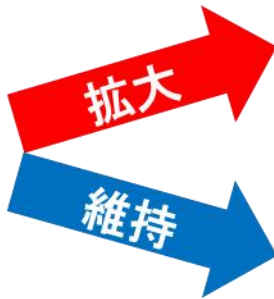
技術提携

新しい戦略製品



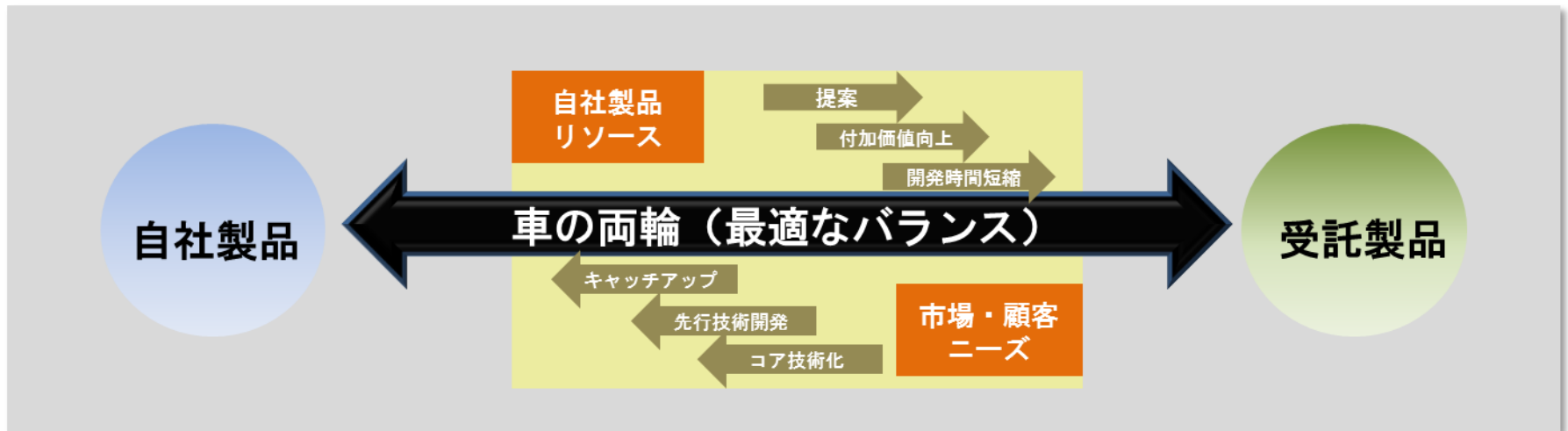
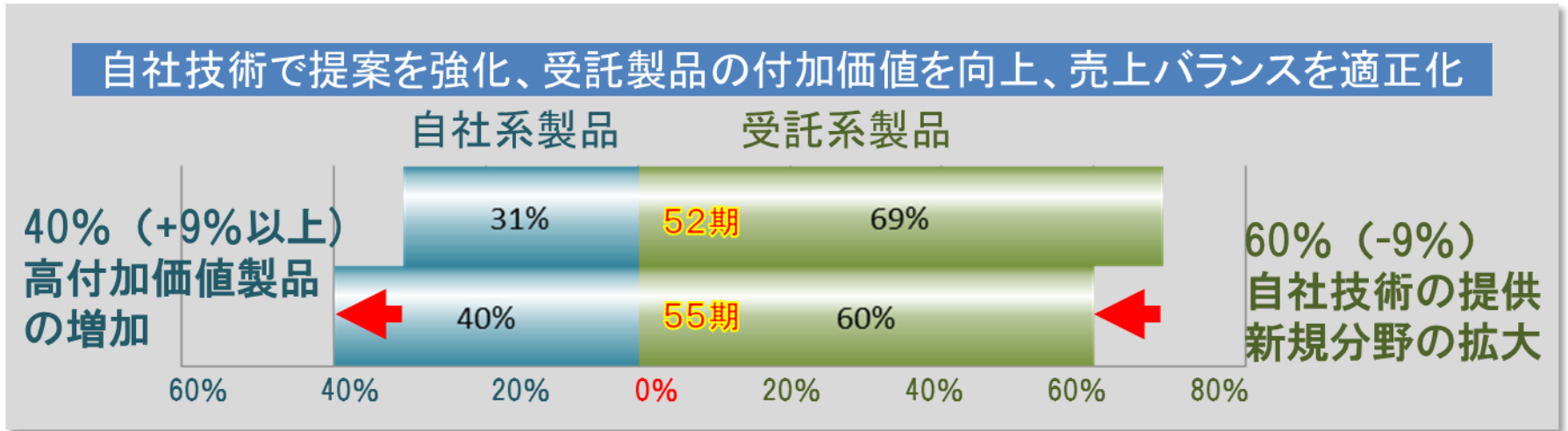
テラストレージ スマート電源

強い体質
強い財務基盤



中期経営計画 事業戦略

製品競争力・収益性を強化、「実行と実現力」で目標を達成！



景気回復時の業界変革での飛躍

成長事業の確立

- 差別化された強い製品
- 新分野と新製品の売り上げ向上

強い体質強化

- 変化を捉える組織が「進化」
- 積極投資と固定費の最適化

生産性の最大化

- ARP・Expressで生産性向上
- 業界トップの品質とコスト追求

AaA

actionandachievement

実行と実現

AVALue+
強い体質を維持・攻めの経営へ

連結売上

95億円

経常利益率

14%以上

ROE

10%

連結配当性向

30%

10%

以上/年

自助努力による年成長率

中期・品目別売上・利益予想

2012年3月期(第53期) — 2014年3月期(第55期) 連結・個別

売上

単位:百万円

10,000

9,000

8,000

7,000

6,000

5,000

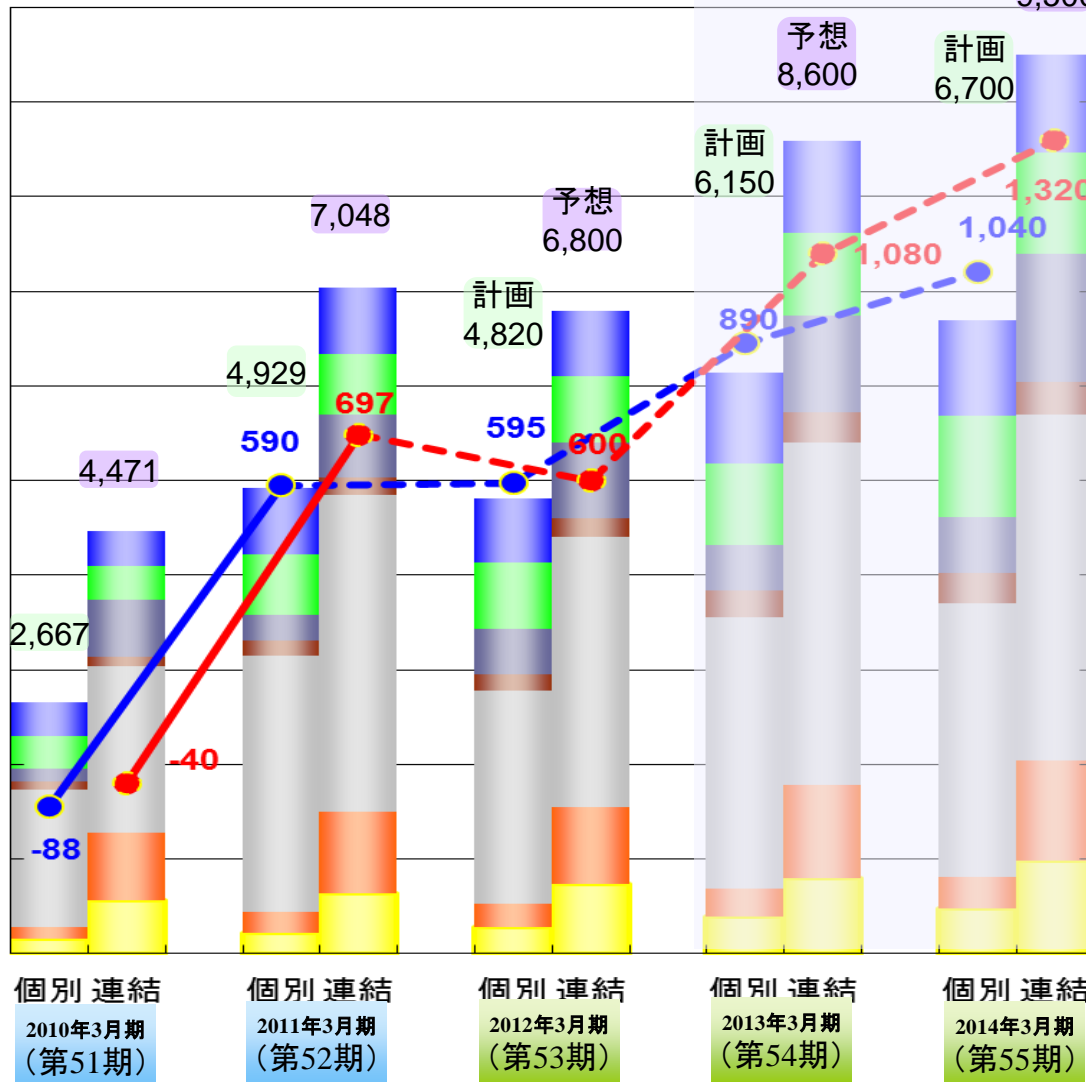
4,000

3,000

2,000

1,000

0



経常利益

単位:百万円

1,600

1,400

1,200

1,000

800

600

400

200

0

-200

-400

連結売上

95億円

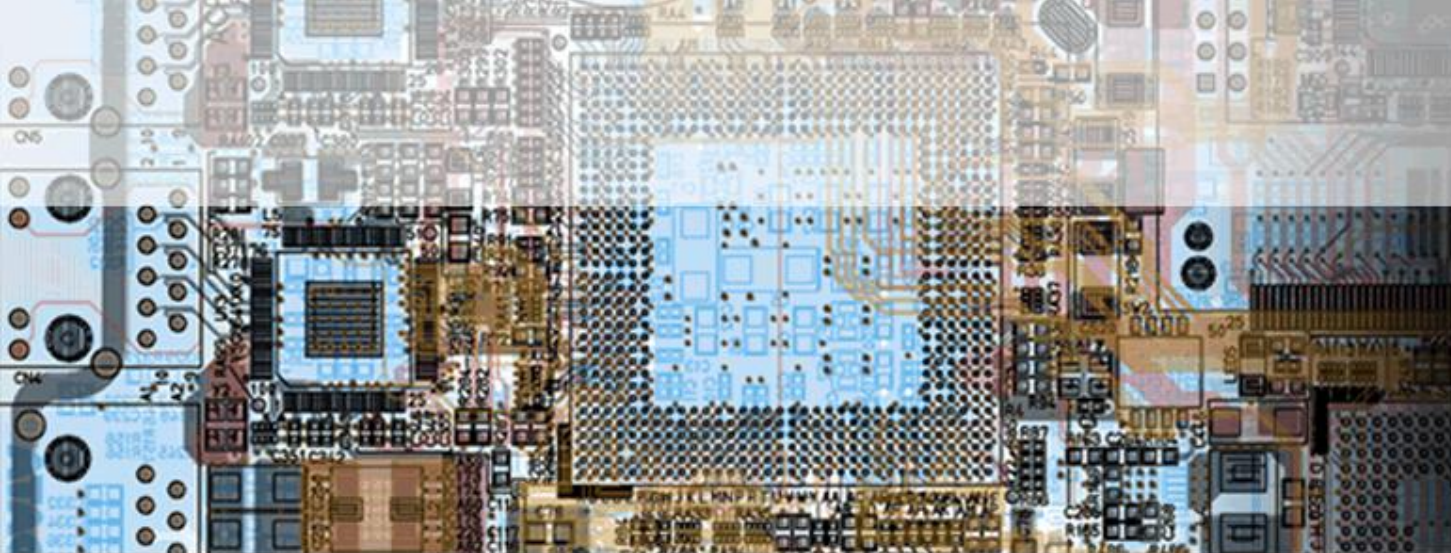
経常利益率

14%以上

- 組込みモジュール
- 画像処理モジュール
- 計測通信機器
- 商品(自社製品関連)
- 半導体製造装置関連
- 産業用計測機器
- 計測機器
- - - ● 経常利益: 個別
- - - ● 経常利益: 連結

実績

AVAL DATA CORPORATION



2012年3月期(第53期) 第2四半期決算説明会 参考資料

[期間:2011年4月1日-2011年9月30日]

参考資料

- 1.2012年3月期 第2四半期業績(個別)
- 2.半導体/液晶製造装置市場と当社売上高

参考資料 2012年3月期 第2四半期個別業績(個別)

単位:百万円(百万円未満四捨五入)

個別

| 項目 | | 2011年4-9月期(第53期) (半期)実績 | | 2012年3月期(第53期) (通期)予想 | |
|-------|-----------|----------------------------|-------------|--------------------------|-------------|
| 品目 | 項目 | 売上 | 前年同期 増減率 | 売上 | 前年同期 増減率 |
| セグメント | 品目 | | | | |
| 自社製品 | 組込みモジュール | 352 | -5.6% | 685 | -3.4% |
| | 画像処理モジュール | 331 | 15.3% | 700 | 9.8% |
| | 計測通信機器 | 235 | 132.7% | 480 | 79.4% |
| | 自社製品関連商品 | 67 | 13.6% | 165 | 4.4% |
| | 小計 | 984 | 19.9% | 2,030 | 14.5% |
| 受託製品 | 半導体製造装置関連 | 1,230 | -14.0% | 2,255 | -16.9% |
| | 産業用制御機器 | 98 | -2.0% | 250 | 17.4% |
| | 計測機器 | 116 | 14.9% | 285 | 23.3% |
| | 小計 | 1,444 | -11.4% | 2,790 | -11.6% |
| 売上合計 | | 2,429 | -0.9% | 4,820 | -2.2% |
| 営業利益 | | 289 | 20.9% | 535 | 4.4% |
| 経常利益 | | 337 | 19.1% | 595 | 0.9% |
| 当期純利益 | | 253 | 22.8% | 425 | -5.8% |

計画数値は9月13日現在の数値です。

2000年3月期(第41期)―2013年3月期(第54期)

